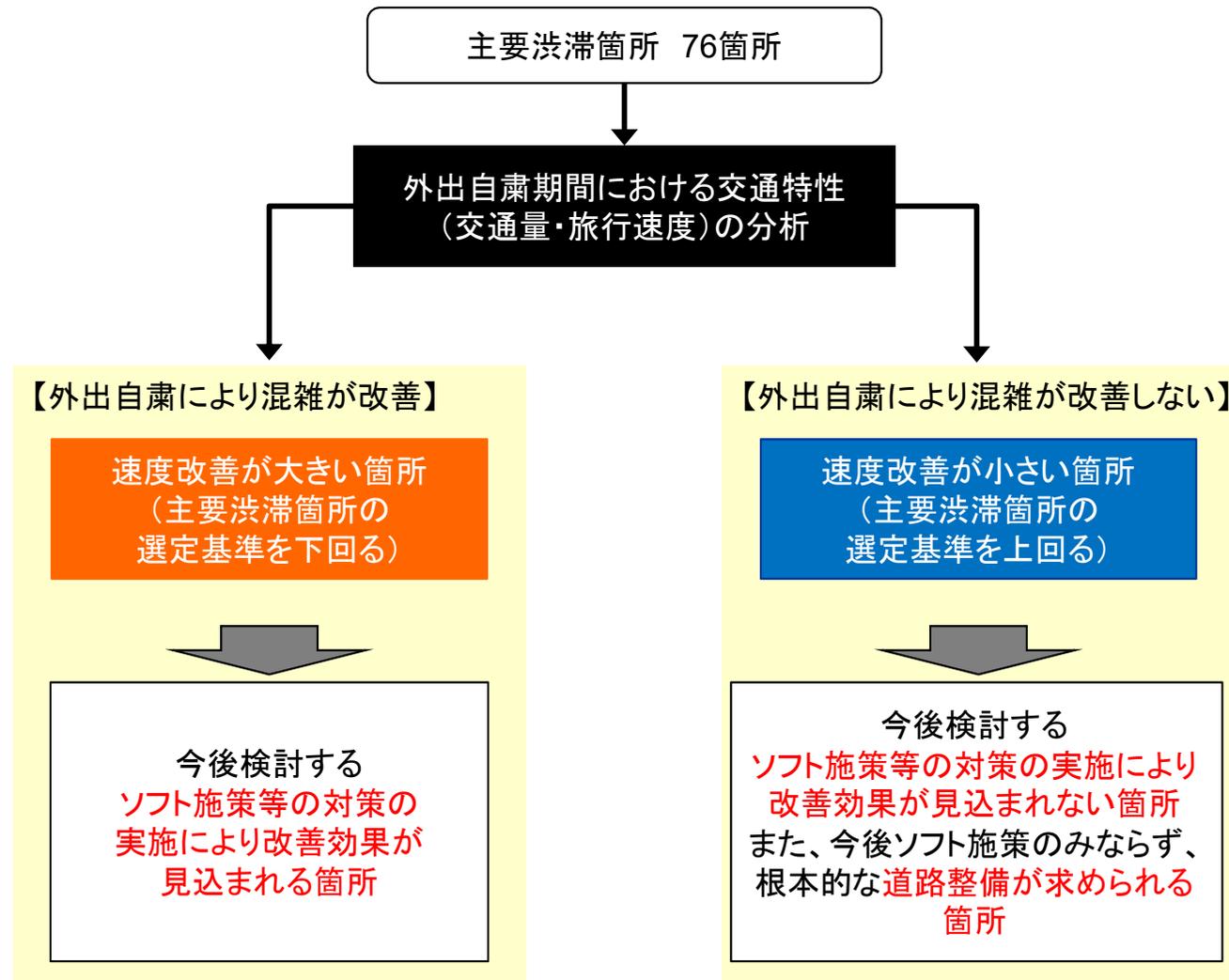


5. 新型コロナウイルスの影響による交通状況の変化

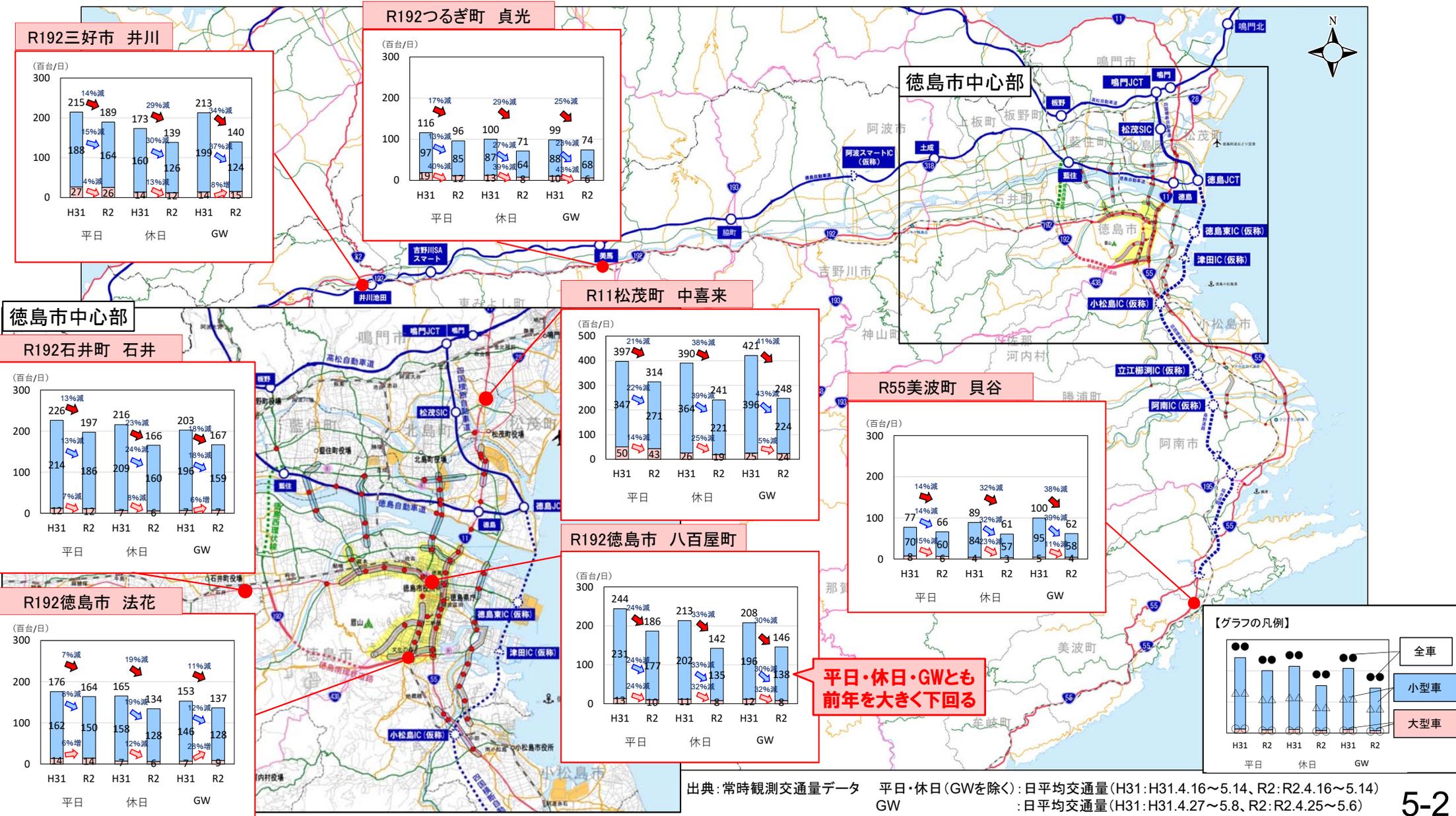
5.1 分析概要

- 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、令和2年4月16日～5月14日の1ヵ月間、緊急事態宣言が発令。
- 外出自粛の影響で交通量が全国的に減少しており、ソフト施策を中心とした今後の渋滞対策の検討に向けて、緊急事態宣言下における交通量や旅行速度を分析し基礎資料とする。



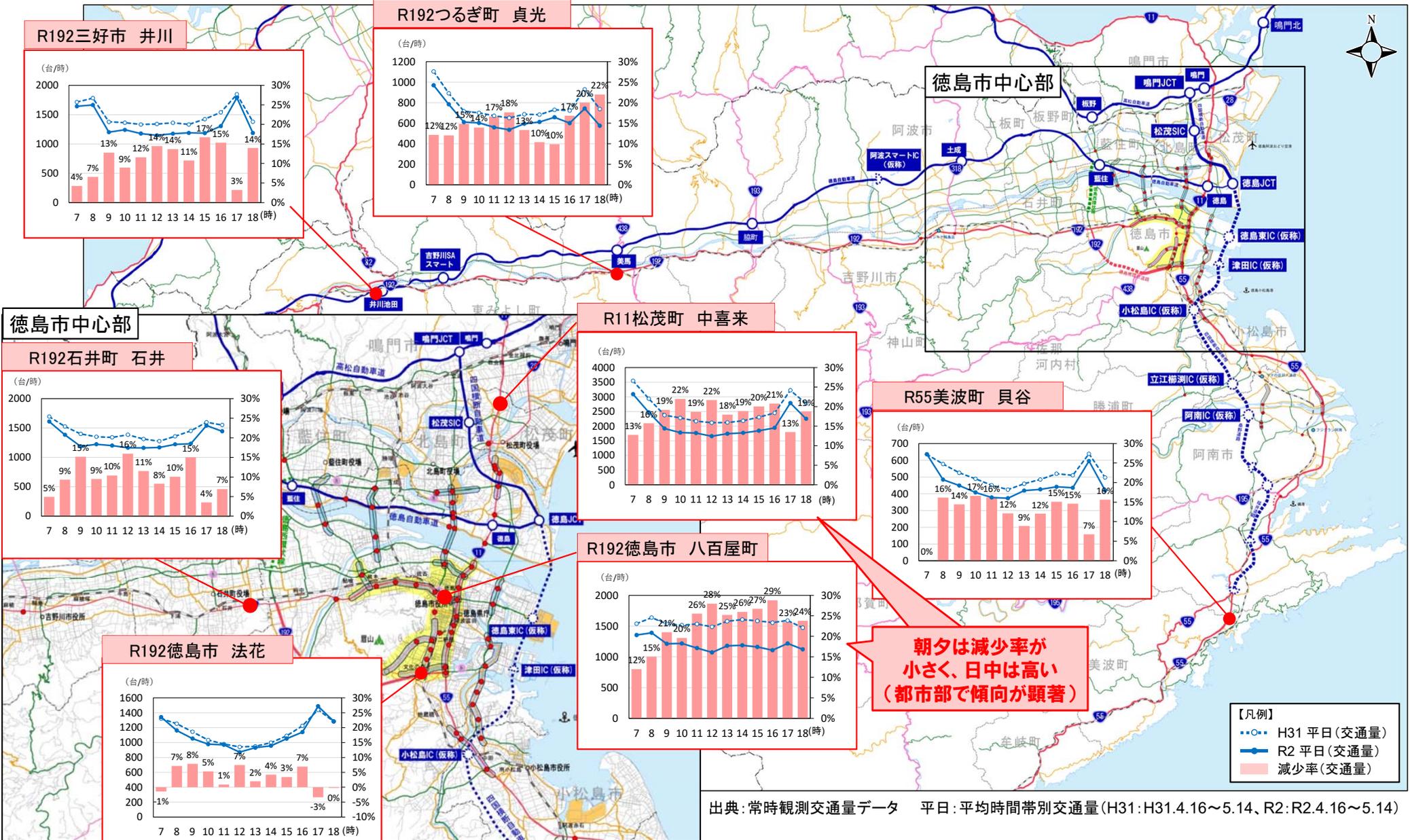
5.2 新型コロナウイルスの影響による交通量の変化（日平均交通量）

○徳島県内の主要箇所における日平均交通量は、平日・休日・GWとも前年比を下回っている。
 ○平日は約10～20%、休日は約20～40%、GW期間中は約10～40%交通量が減少している。徳島市中心に位置する国道192号八百屋町では、平日・休日で約20～30%減少している。



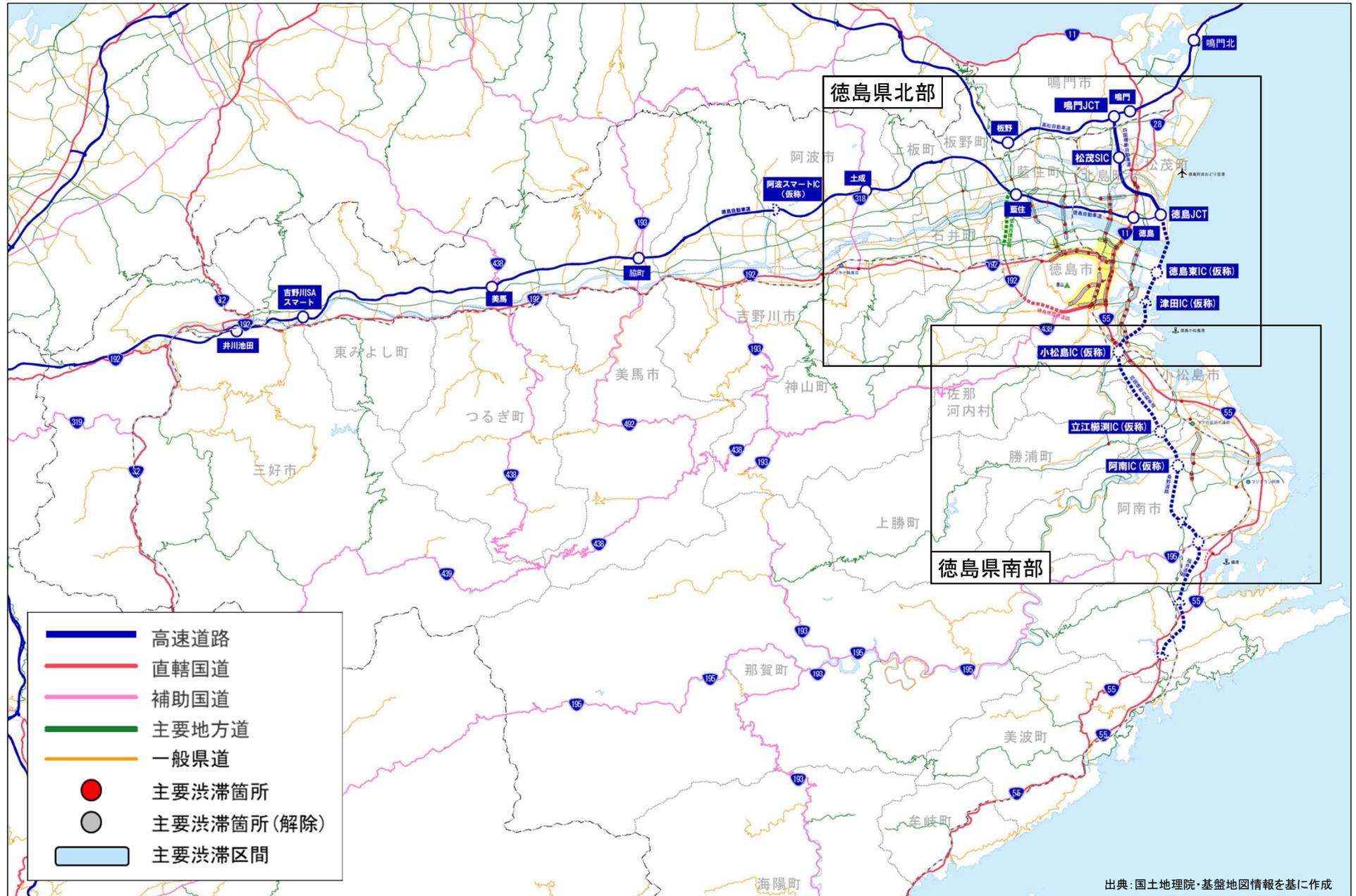
5.2 新型コロナウイルスの影響による交通量の変化（時間帯別交通量）

- 平日の時間帯に着目すると、朝夕時間帯の減少率は小さく、日中の時間帯で減少率が高い傾向である。
- 自粛しにくい通勤交通はあまり減少せず、不要不急の買い物や業務交通が大きく減少したと考えられる。
- 国道11号中喜来や国道192号八百屋町等の都市部ほど上記の傾向が顕著である。



5.3 新型コロナウイルスの影響による旅行速度の変化

- 県内の主要渋滞箇所周辺を対象として、緊急事態宣言前・宣言中における旅行速度の変化を面的に把握。
- 主要渋滞箇所が位置する範囲(北部・南部)を対象に、朝ピーク時における旅行速度の差分を以降に示す。



出典: 国土地理院・基盤地図情報を基に作成

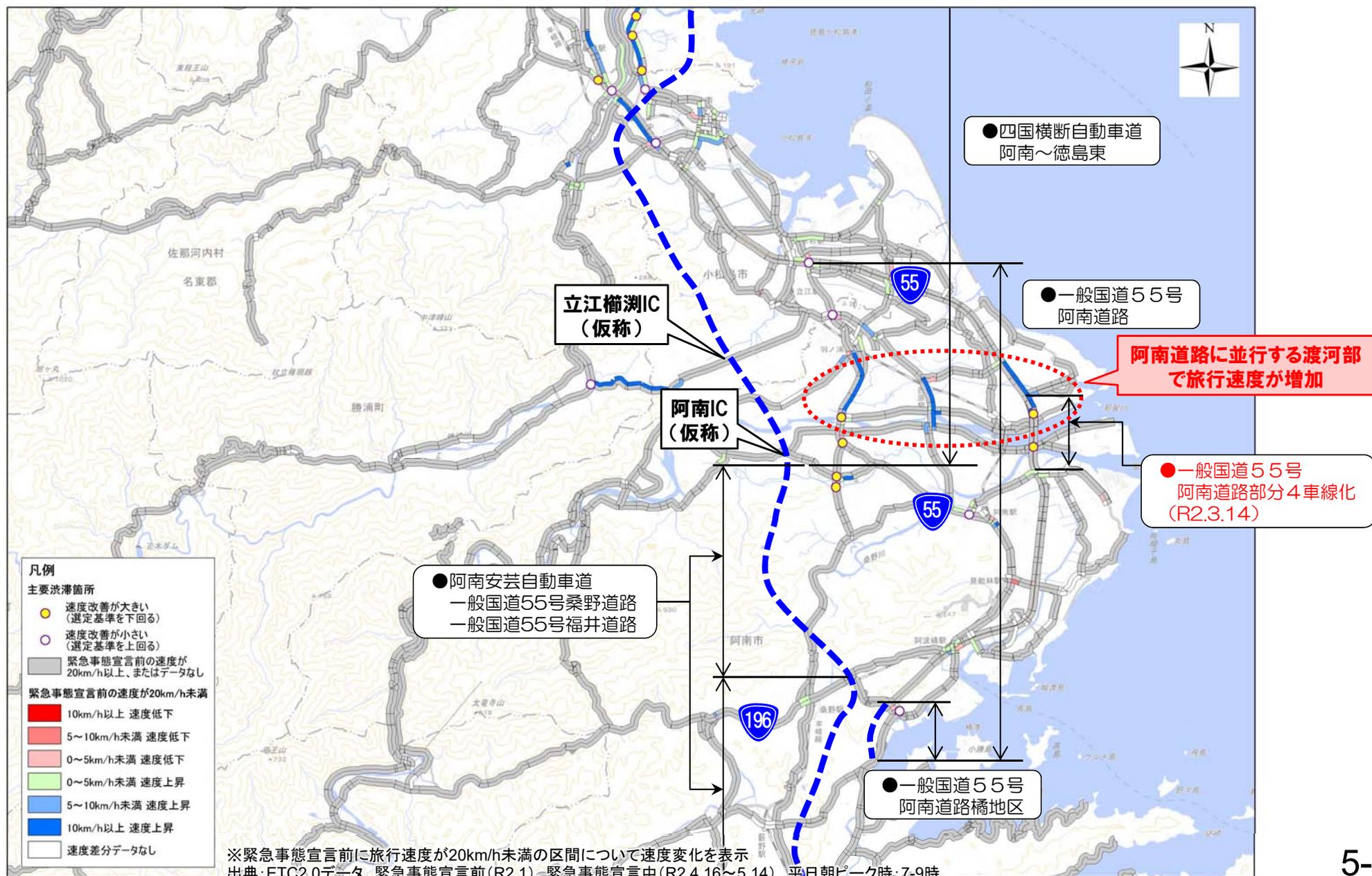
5.3 新型コロナウイルスの影響による旅行速度の変化【徳島県北部・朝ピーク時旅行速度の差分】

○国道11号は、交通量が21%減少することで旅行速度が微増傾向。国道55号も同傾向にある。国道192号は、交通量が7~24%減少することで一部区間で旅行速度が10km/h以上増加しており、南北・東西方向の幹線道路における旅行速度の増加が確認できる。
 ○渡河部の前後区間を中心に、旅行速度の増加が著しい。



5.3 新型コロナウイルスの影響による旅行速度の変化【徳島県南部・朝ピーク時旅行速度の差分】

OR2.3.14に一般国道55号阿南道路が4車線化。4車線化前後の旅行速度が10km/h以上増加。
 ○また、阿南道路に並行する渡河部も旅行速度が10km/h以上増加しており、阿南道路4車線化の効果も考えられる。



5.4 新型コロナウイルスの影響による交通状況のまとめ

- 外出自粛により平日の交通量が約10～20%減少。
- 速度改善が大きい箇所(選定基準を下回る)は、全主要渋滞箇所のうち、約4割で確認できた。
- 今後、上記を踏まえたソフト施策等の検討を行っていききたい。
- 一方で、交通量が約10～20%減少しても速度改善が小さい箇所(選定基準を上回る)は、約6割存在し、更なる交通分散が必要と考えられるため、今後ソフト施策に加えて、事業路線の早期整備が求められる。

表 主な事業に並行する主要渋滞箇所への影響の整理

主な事業名	事業に並行する主要渋滞箇所				備考	
	速度改善が大 (選定基準を下回る)	速度改善が小 (選定基準を上回る)	合計	速度改善が 小の割合		
徳島西環状線	1	6	7	86%		
徳島南環状線	2	5	7	71%		
徳島東環状線	9	23	32	72%	四国横断自動車道と重複あり	
四国横断自動車道	徳島東～徳島JCT	4	8	12	67%	徳島東環状線と重複あり
	阿南～徳島東	13	16	29	55%	
一般国道55号 阿南道路橋地区	0	1	1	100%	阿南安芸自動車道と重複あり	
阿南安芸自動車道 (一般国道55号桑野道路、福井道路)	2	2	4	50%	一般国道55号 阿南道路橋地区と重複あり	